

活動情報

取組項目

農作物の収穫体験

組織名

三区町環境保全隊

那須 管内

那須塩原 市

活動目的：非農業者や子供たちが、栽培から収穫までの農業を体験することで食と農業の大切さを理解する

活動内容：農作物の種まき、苗植えから収穫までの体験をする。

30代～40代の次期後継者の集まりである「三区ど～すっ会」が、非農業者親子を対象として行う「農業体験学習」も4年目となり、今年の5月にカボチャ・スイカ・サツマイモの苗を植え、枝豆とトウモロコシの種を蒔きました。

8月9日、32名(子供18名、大人14名)の参加で、カボチャは生育不良でしたが、枝豆・トウモロコシ・スイカの収穫体験を行い、集まった家族は大喜びでした。

「三区ど～すっ会」活動の柱である、①将来に向けての仲間づくり ②地域活動への積極的参加 ③若者の発想による新しい企画と行動展開が着実に推進されていることを感じています。



5月の種まきと苗植え



枝豆・トウモロコシ・スイカの収穫



活動情報

取組項目

第二回「夏休み学習会・お楽しみ会」の開催

組織名

三区町環境保全隊

那須 管内

那須塩原 市

活動目的：那須野ヶ原開拓の原点であると言われている三区町の歴史と日本三大疏水の一つである那須疏水の開削により、三区町を穀倉地帯へと変身させた農業用水路や田んぼに係る歴史を学び、さらに歴史的施設である「那須開墾社第二農場跡地(歴史公園)」を、地域の憩いの場として将来に亘って保全・継承することを目的として開催した。



保護者による大型絵本の読み聞かせ



那須疏水の歴史学習



宝探しに駆け回る子供たち



子ども遊び(ブーメラン・竹とんぼづくり)



自分で作ったもので遊ぶ子供たち



子供会育成会役員のかき氷サービス

今年は、三区子供会育成会全体との連携により、イベント内容も保護者向けにまとめた「私たちの住む三区町の歴史」と子供向けにまとめた「那須疏水と那須野ヶ原開拓のお話」を学習、続いて保護者による「大型絵本の読み聞かせ」や「昔遊びとしてのブーメラン・竹とんぼづくりを体験」、そして子供たちのお楽しみ「宝探し」は、公園全体に隠した番号札を探して駆けまわり文具のプレゼントと交換しました。

また、今回は子供会育成会役員による「かき氷」のサービスもありました。

その他、昨年の子供たちが参加した活動(農業体験・植栽・生きもの調査・夏休みお楽しみ会)と「三区町の四季」をDVD(動画に編集)にしたものを鑑賞し、盛りだくさんのイベントを終了しました。

今回は、他の行事と重なったこともあり、昨年よりは参加者(子供 79 名、保護者 46 名)が少なくなりましたが、子供たちにとっては夏休みの思い出となる時間を過ごしてくれたものと思います。

活動情報

取組項目

生物の生息状況の把握

組織名

三区町環境保全隊

那須 管内

那須塩原 市

活動目的：田んぼと生き物の関係についての理解を深める

活動内容：田んぼまわり・公園内雑木林周辺・公園池内の生き物を調査

7月21日、農業者8名、非農業者19名、子供23名の参加で生きもの調査を実施した。

今回は、日本三大疏水の一つである那須疏水の分流で、今年2月に生物の生息環境整備として、方格材を組み上げ、玉石をいれた井桁護岸を設置し、地域住民から「ドジョウ池」として親しまれている水路や公園内の雑木林と池で実施した。

調査後は、アドバイザーから、捕獲した生きものの生態など詳細な説明があり、参加者全員が真剣に聞き入った。

確認できた生きものは、シマヘビの爬虫類、トウキョウダルマガエル等の両生類、そしてトンボ類・チョウ類・甲虫類等でした。

井桁護岸を設置した「ドジョウ池」周辺の水路は、昨年より通期通水を行っているので、今後水草等の整備も行い、最終目的である“ホタル”が飛ぶ環境整備を随時行っていく予定である。



ドジョウ池に設置した看板前で「井桁護岸」の説明